



日本安全性薬理研究会

医薬品の安全性評価を薬理学から支える

Japanese Safety Pharmacology Society

Supports Safety Evaluation of Pharmaceuticals based on Pharmacology

BOARD OF DIRECTORS

Keiji Yamamoto
President

Kentaro Ando

Katsuyoshi Chiba

Keitaro Hashimoto

Seiji Hayashi

Toshiyasu Hombo

Naoki Inamura

Akihiro Kanno

Testsuya Kitayama

Koichi Kuwano

Kohei Sawada

Yuko Sekino

Atsushi Sugiyama

Mitsuyasu Tabo

Hiroyuki Tashibu

Shigeki Toyoshima

Hirokazu Tsubone

Chieko Kasai
*3rd Annual Meeting
President*

Mitsugu Sakamoto
Secretary

2011年9月吉日

日本安全性薬理研究会会員の皆様

日本安全性薬理研究会 第1回情報交換会

「心機能に対する薬物の作用: *in vitro* 評価系」のご案内

日本安全性薬理研究会は毎年2月に学術年会を開催しておりますが、この学術集会以外に、会員の皆様にとってより実践的な内容について協議・情報収集できる場を提供する目的で、このたび、第1回情報交換会を開催する運びとなりました。

第1回情報交換会では、心機能に対する薬理作用のスクリーニング系の必要性を議論するとともに、現在利用可能なツールの利点・欠点を理解することを目的とします。また、海外で先行しつつある幹細胞由来分化細胞を利用した創薬スクリーニング系のキャッチアップという観点からも本情報交換会は有用なものになると期待しています。

つきましては、下記プログラムをご参照の上、参加希望者は10月14日10月21日(締め切りを延長しました)までに、ホームページ上からお申し込みください。

- **申し込みは締め切りました。会場の関係で当日申し込みはお受けできません。**
- 日時: 2011年 10月 29日 13:00-17:15 (12:20開場・受付開始)
- 場所: 第一三共株式会社 葛西研究開発センター(東京・北葛西)
- 参加資格: 日本安全性薬理研究会会員限定。非会員の方は、情報交換会当日に年会費1000円を支払い、会員登録することでご参加頂けます。
- 参加費: 無料

急なご案内で大変恐縮ですが、ご検討下さいますようお願いいたします。

世話幹事: 山本恵司、澤田光平、千葉克芳

申し込みに関するお問い合わせ先 (for more information):

北山哲也 (Tetsuya Kitayama)、桑野 康一 (Koichi Kuwano)

koukankai@j-sps.org



日本安全性薬理研究会

医薬品の安全性評価を薬理学から支える

Japanese Safety Pharmacology Society

Supports Safety Evaluation of Pharmaceuticals based on Pharmacology

日本安全性薬理研究会 第1回情報交換会

「心機能に対する薬物の作用: *in vitro* 評価系」

- ホームページ申し込み: : <http://j-sps.org/pm/postmail.html>
- 日時: 2011年 10月 29日 13:00-17:15 (12:20 開場・受付開始)
- 場所: 第一三共株式会社 葛西研究開発センター(東京・北葛西)

プログラム

2011年10月29日(土)	
13:00-13:15	開会の辞: 薬剤による心血管毒性の予測のための新しい非臨床評価ツールの必要性について ◎山本 恵司(武田薬品工業)
13:15-14:00	◎教育講演: 心筋の興奮収縮連関について 黒川 洵子(東京医科歯科大学難治疾患研究所)
14:00-14:40	動きベクトル解析による非侵襲な心筋細胞の拍動評価法 ◎早川智広(ソニー株式会社先端マテリアル研究所ライフサイエンス研究部)
14:40-15:00	休憩(缶コーヒーをご用意します)
15:00-15:40	xCELLigence RTCA カルディオシステムの非臨床安全性評価への適用 ◎Yama A. Abassi (Vice President, ACEA Bioscience Inc.)
15:40-16:20	オンチップ細胞ネットワーク計測技術を用いた quasi-in vivo 心毒性予測スクリーニング系の開発 ◎安田賢二、金子智行、野村典正、浜田智代(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)
16:20-17:00	Cellular Dynamics International 社の iCell Cardiomyocytes の紹介 ◎酒井 明(iPS アカデミアジャパン 研究技術部長)
17:00-17:15	第11回安全性薬理学会学術年会参加報告: 心機能評価の現状と今後の展望 ◎千葉克芳(第一三共株式会社)、他

以上



日本安全性薬理研究会

医薬品の安全性評価を薬理学から支える

Japanese Safety Pharmacology Society

Supports Safety Evaluation of Pharmaceuticals based on Pharmacology

The 1st JSPS Information Exchange Conference

“In vitro testing systems for the drug’s effects on myocardial function”

- Application : <http://j-sps.org/pm/postmail.html> (Japanese language only)
- Date: October 29, 2011; 13:00-17:15 (Reception starts at 12:20)
- Place: Daiichi Sankyo Co., Ltd. Kasai Research and Development Center at kita-kasai, Tokyo

Programme

October 29, 2011 (Saturday)	
13:00-13:15	Opening remarks: Necessity of novel nonclinical testing tools for prevention of drug-induced cardiovascular toxicity. ○Keiji Yamamoto (Takeda Pharmaceutical Company Limited.)
13:15-14:00	Educational Lecture: Excitation-contraction coupling in cardiac muscle. ○Junko Kurokawa (Tokyo Medical and Dental University)
14:00-14:40	Non-invasive evaluation of contractile behavior of cardiomyocyte monolayers based on motion vector analysis. ○Tomohiro Hayakawa (Life Science Laboratory, Advanced Materials Laboratories, Sony Corporation)
14:40-15:00	Break
15:00-15:40	The Application of xCELLigence RTCA Cardio System for Pre-Clinical Safety Assessment Yama A. Abassi (Vice President, ACEA Bioscience Inc.)
15:40-16:20	Development of quasi-in vivo cardiovascular toxicity predictive screening assay exploiting on-chip cell network measurement technology ○Kenji Yasuda, Tomoyuki Kaneko, Fumimasa Nomura, Tomoyo Hamada (IBB, Tokyo Medical and Dental Univ.)
16:20-17:00	Introduction of iPS cells-derived human cardiomyocytes developed by Cellular Dynamics International, Inc. ○Akira Sakai (iPS Academia Japan, Inc.)
17:00-17:15	The 11th Safety Pharmacology Society Annual Meeting Report: Present trends and future prospects for assessment of cardiac function ○Katsuyoshi Chiba (Daiichi Sankyo Co., Ltd.) and others



日本安全性薬理研究会

医薬品の安全性評価を薬理学から支える

Japanese Safety Pharmacology Society

Supports Safety Evaluation of Pharmaceuticals based on Pharmacology

第一三共株式会社 葛西研究開発センター

〒134-8630 東京都江戸川区北葛西1-16-13

TEL:03-3680-0151(代表)



最寄り駅

- 船堀駅南口(都営新宿線)から徒歩10分

参考:船堀街道 → 宇喜田橋を越え、川沿いを右へ(手前を右へ、木造の橋を渡っても可) → 小さな公園を通過し、左側の道へ → そのまま進み正門へ

参考:西葛西駅(東西線)からタクシー10分程度(参考料金:約1,000円)



日本安全性薬理研究会

医薬品の安全性評価を薬理学から支える

Japanese Safety Pharmacology Society

Supports Safety Evaluation of Pharmaceuticals based on Pharmacology

本会開催の背景について

近年、臨床試験成績を解析して心血管リスク(心筋梗塞、脳梗塞、突然死等)を評価することが幾つかの疾患領域で行われるようになり、そのリスクがベネフィットを上回る場合には市場からの撤退あるいは販売申請の不承認を余儀なくされています。これら心血管系の副作用の機作のひとつとして、QT 延長作用については過去 10 年以上にわたって膨大な研究が行われ、スクリーニング系や非臨床・臨床評価法なども確立されて参りました。一方、心機能、心血行動態、心筋毒性、あるいはその他の循環器系に対する副作用に対しても対応が始まりつつあり、今後検討が進む領域だと考えられます。

実際、2011 年 9 月にオーストリアのインスブルクで開催された Safety Pharmacology Society Annual Meeting において、心機能に関連する安全性評価について関心が高まっており、非常に多数の発表が行われました。加えて、大手製薬会社及び FDA など規制当局のメンバーが多く参加している HESI の Cardiac Safety Technical Committee において、心血行動態に関する共同研究の要否が検討されはじめた事を勧告しましても、今回の in vitro 心機能評価系に関する情報交換会は時宜を得たものと考えております。

今回の情報交換会では、特に心機能に対する薬物の作用を評価する系について、生理的な基本知識から最新情報まで、最先端の研究を行っておられる演者の先生方からご紹介頂きますとともに、in vitro 及び in vivo の評価系に関する意見交換の場となることを期待しております。

安全性薬理研究会の皆様におかれましては、是非この機会をご研究・情報収集にご利用頂けましたら幸いです。

2011 年 10 月 5 日
山本恵司、澤田光平、千葉克芳